

インフォメーション

日本蜘蛛学会第52回 大会の延期について

第52回大会実行委員長 村田浩平

会長 田中幸一

2020年8月に熊本で開催が計画されております本大会は、新型コロナウイルスの感染拡大により、会場の確保および参加予定の会員の皆様の安全を配慮し、延期といたします。延期後の開催日程等につきましては、本学会ホームページなどによりお知らせする予定です。参加を予定されていた皆様におかれましては、ご自身とご家族の健康に十分留意され、熊本でお会いできますことを楽しみにお待ちしております。

申し込み等の詳細は、あらためてお知らせします。多数の参加をお待ちしております。

【会員の皆さんへのお願い】 電子メールアドレスの登録・変更

庶務幹事 田中一裕

日本蜘蛛学会から会員の皆さんへの連絡は、これまで郵便により行ってきましたが、迅速な連絡および経費節減のため、今後はできるだけ電子メールを用いることにいたします。しかし、学会の会員データベースには、電子メールアド

レスを登録されていない会員が多くみられます。また、プロバイダの変更などにより、アドレスが変更になった会員もおられることと推察されます。

そこで、会員の皆さんに、電子メールアドレスの登録および変更について、連絡していただきますようお願いいたします。

同封の用紙に、会員データベースに登録されている電子メールアドレスが記されています。

(1) そこが空欄（登録なし）の方で、電子メールアドレスをお持ちの場合は、アドレスをお知らせください。

(2) そこに記された電子メールアドレスが変更になっている方は、現在のアドレスをお知らせください。

連絡は、メールで私（田中）までお願いいたします。

メール宛先：tanaka@mgu.ac.jp

（田中一裕）

件名：クモ学会メールアドレス

ご多忙のことと思いますが、よろしくお願いたします。





同好会情報

ここでは日本各地にあるクモ同好会で発行されている定期刊行物の内容、採集会や講演会（総会・例会）の日程などを紹介します。興味を持たれた方は入会したり、行事に参加されてはいかがでしょうか。

中部蜘蛛懇談会（代表：緒方清人）

会報「蜘蛛」を年1回、「まどい」を年3回発行。採集会を年2～4回。総会・研究会を年1回実施。

蜘蛛（KUMO）52号

貞元巳良：長野県白馬村に行った

貝發憲治：三重県松阪市山室町の里山のクモ類

緒方清人：愛知県産クモ目録と追加種（XI）

加藤修朗：三重クモ談話会の採集会についての報告

短報

益田和昌：アカホシタカクワヤスデの生息地



2019年度中部蜘蛛懇談会総会研究会
参加者一同

とその全体図

総会・研究会・採集観察会等報告

採集観察会

2020年度6月までの活動は中止します。8月に予定している夏休み子ども観察会につきましては当面未定とします。

合同合宿

本年度は中止とします。

総会・研究会は2021年2月11日（木、祝）

ウィルあいちにて開催

入会申し込み他

全般について

〒472-0022 知立市山屋敷町東山10-6

緒方清人（代表）

Tel 0566-83-4474

E-mail:neon_kiyotoi@ybb.ne.jp

入会・会費など

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1

名古屋市立大学 気付 片山詔久（会計）

Tel 052-872-5853

nory@nsc.nagoya-cu.ac.jp

会費

正会員 年3000円（高校生以下1000円）

準会員 「まどい」のみ1000円

東京蜘蛛談話会（会長：新海栄一）

会報「KISHIDAIA」を年2回、「談話会通信」を年3回発行。採集会年4回・合宿年1回・総会例会などを年2回実施。

KISHIDAIA 116号（2020年3月発行）

須黒達巳：ヤマシログモ *Dictis striatipes* は同

定できる

奥村賢一：茨城県土浦市でのワスレナグモ新産地と幼体移動分散の観察

新海 明：子育てするクモ「どんな子も育てる」コガネヒメグモと「そうでもない」アシプトヒメグモ

鈴木佑弥：クモ食性ヒメグモ類における粘球糸展開行動の比較

藤野義人：ヒトエグモの生態的知見

DRAGLINES

中村頌湧・藤田将平・谷川明男・徳田 誠：九州北西部におけるキムラグモ属(ヒゴキムラグモ)の初確認

木村知之：ジョロウグモは太陽に尻を向ける？

萩野康則：千葉市中央区の市街地で採集されたスズミグモ

嶋田順一・吉野光代：天覧山でワクドツキジグモとカトウツケオグモを再発見

高原敏生・馬場友希：福岡県におけるホシスジオニグモの記録

馬場友希：イエユウレイグモに捕らえられたユカタヤマシログモ

芹田凌平：高知県でヨシクラユウレイグモを採集

芹田凌平・久保田温和：高知県でチビケムリグモを採集

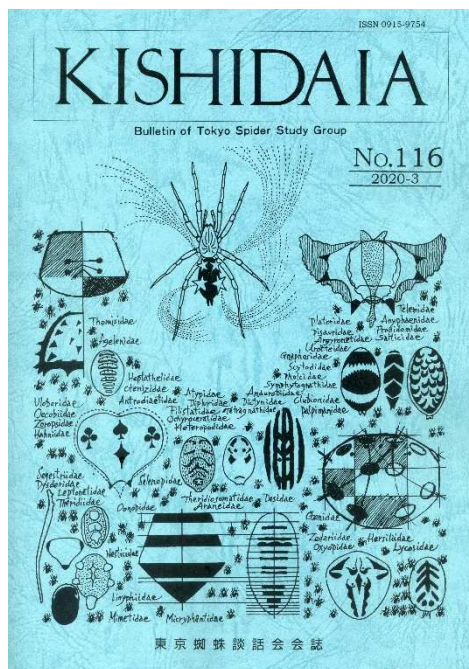
馬場友希：オビハエトリグモ属の一種(*Siler ruber*)に対する和名の提唱

馬場友希・亘悠哉：コケオニグモの網上で餌盗みをおこなうアカイソウロウグモ

貞元己良：千葉県香取市でクロガケジグモを採集した

荘司康治郎：ハモンエビグモの成体出現期について

荘司康治郎：CD 日本のクモ ver. 2018 の山梨



県未記録 6 種ほか

野口奨悟：福岡県で採集したシロゴミグモ

和仁道大：きれいなボロ網とクモの発見

長野宏紀・谷川明男：大阪府におけるキムラグモの発見

内山龍人・依田剛明・鈴木佑弥：アマミシリケンイモリを捕食したヘリジロハシリグモ

鈴木佑弥：オガタモリヒメグモの網を野外で発見

鈴木佑弥：令和元年台風 19 号を耐え抜いたワスレナグモ

鈴木佑弥：茨城県におけるスズミグモの記録 II

鈴木佑弥：水に潜ったナガコガネグモ

鈴木佑弥：タイリクケムリグモを兵庫県で採集

野口奨悟：九州大学で採集したヤガタアリグモの記録

相知紀史・中谷優介：奈良県で新たに採集されたクモ

信太理央・相知紀史：福岡県で新たに採集され

たクモ

増原啓一: 国東半島とその周辺の長肢系ホラヒメグモ類

増原啓一: 中国地方における長肢系ホラヒメグモ類の分布と変異

菅波洋平: 群馬県長野原町の土壌から採集されたクモ類(II)

林 俊夫: 群馬県における雪上のクモ

熊田憲一: 龍江及び上村を主調査地とした飯田市のクモ

鈴木佑弥: 長野県上伊那郡飯島町で採集されたクモ

久保田 直: 宮城県青島のササラダニ類

久保田 直: 愛媛県旧小田町のササラダニ類

谷川明男・篠原麻夏・新海 明: 東京蜘蛛談話会 2019年度合宿報告 山形県鶴岡市周辺のクモ

今年度の採集会は、円海山で行います。

第2回 2020年7月12日(日)

第3回 2020年10月18日(日)

第4回 2021年2月14日(日)

JR 京浜東北根岸線港南台駅改札 10:00 集合
世話人: 安田明雄

合宿

2020年度の合宿は中止とします。

例会

11月下旬あるいは12月上旬の日曜日、10時より東京環境工科専門学校で実施の予定。申し込みなどは不要です。

入会申し込み

〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8

コンフィデンス高垣 105 (有) エコシス

初芝伸吾 (事務局)

Tel 042-501-2651

E-mail: hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

会費 年 2000 円 (学生 1000 円)

関西クモ研究会 (会長: 田中穂積)

会報「くものいと」を年2回発行。採集会・研究会例会などを年数回実施。

くものいと 53号 (2020年3月発行)

池田健一: 兵庫県神戸市におけるマメイタイセキグモの記録

嶋澤 聡: 大阪市立大学理学部附属植物園のキノボリトタテグモ

伊藤 博: 滋賀県大津市におけるマルゴミグモの採集記録

伊藤 博: 山門水源の森におけるリュウキュウヒメグモの採集記録

岡田純二: アオオビハエトリのアカメガシワ葉上における吸蜜行動について

岡田純二: シロブチサラグモの♂1頭と♀2頭による交接行動

吉田 真: 滋賀県新記録のクモ類

関西クモ研究会採集会の記録 2019年度

採集会

2020年9月27日(日)

場所: 神戸市摩耶山

詳細未定

例会

2020年12月13日(日)

大阪市立自然史博物館 1階集会所で開催

入会申し込み

〒569-0087

高槻市千代田町 1-1-527

加村隆英 方

電子メール: kamura@haruka.otemon.ac.jp

会費 年 1000 円

三重クモ談話会 (会長：橋本理市)

会報「しのびぐも」を年 1 回発行. 採集会・合宿・例会などを年数回実施.

しのびぐも 47 号 (作成中)

採集会

第 2 回 2020 年 7 月 26 日 (日)

多気郡多気町丹生大師周辺

第 3 回 2020 年 9 月 20 日 (日)

度会郡大紀町大内山南又山

第 4 回 2020 年 11 月 10 日 (日)

いなべ市藤原町新町一帯

詳しくは会のホームページをご参照ください.

<http://miekumo.web.fc2.com/>

参加希望者は事務局 (貝發) まで連絡してください.

合同合宿 (担当は中部蜘蛛懇談会)

2020 年 6 月 20 日から 21 日に予定していた合同合宿は中止します.

総会・反省会 2021 年 2 月 20 日 (土) 松阪市日野町カリヨンプラザ

入会申し込み

〒515-0087 三重県松阪市萌木町 7-4

貝發憲治 (事務局)

Tel (Fax) 0598-29-6427

mail : kumo@mctv.ne.jp

会費 年 2000 円

東京クモゼミ

毎月 1 回, 第 1 日曜日に千葉県市川市の加藤宅で開催. 会費などなく誰でも参加できる.

連絡先 新海 明 042-679-3728

または, 加藤輝代子 047-373-3344

開催日は <https://dp7a-tnk.wixsite.com/kumosemi> に掲示しています.

メーリングリスト「クモネット」

会費などなく誰でも参加できる. 入会の申し込みは e-mail で馬場友希まで.

ybaba@affrc.go.jp



言いたい! 聞きたい!



クモ切手の風景

14

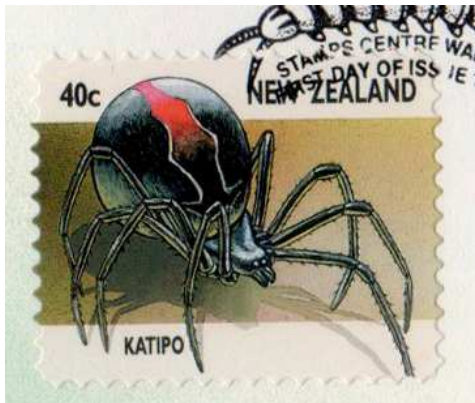
笹岡文雄

切手は世界でどの位の種類が発行されているのでしょうか. どこを探してもデータが中々出てきません. アメリカの W.Scott & Co. が収集家のために毎年発行している世界の切手総合カタログである Scott Catalogue には 1840 年の世界最初のものから現在まで, 世界各国の切手カラー図版付きで掲載されています. それを数えればいいのですが 2018 年版で全 12 冊, それも各巻百科事典並みの厚さです. とても数えられたものではありません, それはみんな同じなのかもしれません. それは発行国ごとのまとめられたカタログですが, 正確には収録されていない国もあるそうで, 数えるとかそういう前に実態はいよいよ誰にも分らないということになります.

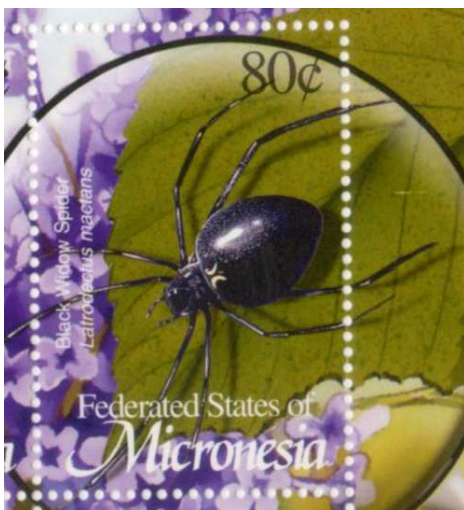
さて前置きが長くなりました. 今回の本題は



エリトリア



ニュージーランド



マーシャル諸島

クモ切手がどれだけ発行されているかということですが、本体が分からないので、当然こちらでも今まで何種発行されているのか不明です。筆者の手元には約 90 種ほどありますが、当然全てのクモ切手ではありません。それが前提ながらどの種類が、最も多く図案化されているか数えて見ました。

単独種としての最多はクロゴケグモの 4 枚、ゴケグモ類 (*Latrodectus*) は 5 種 12 枚でした。セアカゴケグモはありましたが、ハイイロゴケグモはなし。実はタランチュラ類が 13 枚と 1 枚差で最多でしたが、属もバラバラで学名も入っていないものもあり、正確さで言えばゴケグモの判定勝ちというところでしょうか。タランチュラは切手図案としての見栄え、ゴケグモは毒グモとしての知名度からの選定でしょう。とはいえ参考値ながら、ゴケグモとタランチュラで総数の 3 割になるのは、商品としての切手を見ると、なかなかの商魂なのかもしれません。

ヒカリアシナガグモはどこまで北進しているのだろう

藤澤 庸 助

2018 年 8 月 19 日、長野県上田市真田町傍陽、標高 735m に筆者が所有する水田においてヒカリアシナガグモ *Tetragnatha nitens* の雄 1 頭を得た。シナノアシナガグモも水田に入りこむような山林と隣接する狭い水田に、熱帯・亜熱帯原産の本種が得られた意外さがある、その年開かれた第 50 回大会の折に行われた自然保護委員会の場で報告した。そして後に谷川明男さんに種の確認をして頂いた。

本種は故大熊千代子さんが 1968 年の *Acta Arach.* に、1963 年に沖縄県石垣島において日本における初発見として報じているから以来 55 年かけて長野県まで北進してきたことになる。ただし、たまたま幼体が気流に乗って漂着した可能性も否定できないし、もっと前から上田市にまで到達していたかもしれない。

そこで引き続き翌 2019 年にも範囲も若干広げて調査したところ、9 月 18 日上田市上塩尻のアクアプラザの北 90m 程、標高約 440m にある U 字溝で採集したアシナガグモ類 22 頭のうち雄 4 頭、雌 1 頭が本種であった（筆者の水田と標高約 580m の水田では本種が得られなかったが、1 回だけで狭い範囲の調査なので生息の有無は断じられない）。とにかく上田市において 2 年連続で本種が得られたということは、以前から入ってきたとも考えられるし、既に当地で繁殖・越冬しているとも考えられる。

本種は熱帯から亜熱帯の主に水田を中心に生息しているクモであるから、本州内に限れば各都府県比で最低気温を示すことも珍しくない長野測候所より、さらに標高の高い上田市ではどのようなステージで越冬しているのだろうか。2019 年暮からの記録的暖冬のなか本種はどこまで北進しているのだろうか。ひょっとすると東北地方にも見られる可能性もある。

そこで提案であるが、会員の方々には少し時間を割いていただいて御地の水田とその周辺のアシナガグモ類の種相を調べて頂けないだろうか。その結果を遊絲の”採集情報”に投稿されてはどうだろうか。

筆者の調査方法はアシナガグモ類が造網活動を始める夕刻近くに、畦道と水田の稲株の間または水田に隣接する小さな用水路上のアシ

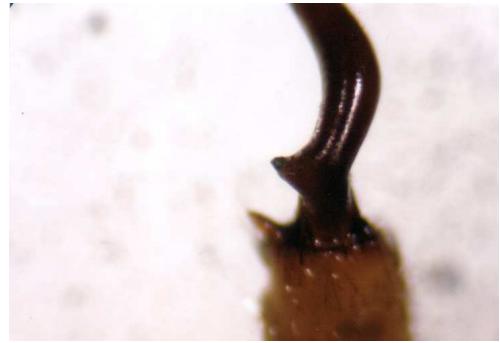


図 1. 雌の牙の基部の突起



図 2. 雄の上顎先端の牙堤歯



図 3. 雌生殖蓋

ナガグモ類を全て採集し、帰宅して同定するというものであるが、アシナガグモに精通している方はルーペ 1 つでその場で同定が可能かもしれない。

谷川明男さん著の「日本産コガネグモ科・ジョロウグモ科・アシナガグモ科の同定の手引き」

(2007) や「CD日本のクモ ver.2018」などによって同定は比較的容易であるが、筆者も左側の上顎と牙の間を背面から撮った図を添えた。(図1. 雌の牙の基部の突起; 図2. 雄の上顎先端の牙堤歯; 図3. 雌生殖蓋)



CD日本のクモ ver.2020



著者自刊 2140円

谷川明男まで

dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp



日本各地で採集された稀産種や、都道府県初記録、島初記録、南限更新、北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み、「私もこんな種類を採集しているぞ」という方

はその情報を是非お寄せいただきたい。

【このコーナーに掲載する記録は、証拠標本か、同定のキーとなる特徴がはっきりと撮影されている写真かのどちらかがあるものに限らせていただきます。目撃談のみのものにつきましては取り上げません。また、幼体の記録についてはいろいろと議論のあるところですが、とりあえず現段階では、投稿があれば参考記録として掲載を継続させていただきます。しかし、幼体での記録は誤同定の危険が大きいですので、可能な限り避けてください。】

イサゴコモリグモ

京都府京都市右京区梅津南町 桂川河川敷
2019年8月23日 1♀ 西風太採集同定

カギフクログモ

京都府長岡京市長岡天満宮 2019年11月7日
1♀ 西風太採集同定

トガリクサチヒメグモ

大阪府大阪市東淀川区柴島淀川河川敷 2020年3月30日
1♀ 西風太採集同定



トガリクサチヒメグモ

マツモトハエトリ

京都府京都市右京区梅津南町桂川河川敷
2019年8月4日 1♀ 西風太採集同定

サイトウモリヒメグモ

京都府京都市右京区西京極郡附洲町桂川河川敷
2019年9月30日 1♂ 2019年10月5日 1♀ (いずれも採集時幼体, 飼育後成体) 西風太採集同定

サトヒメグモ

京都府長岡京市長岡天満宮 2019年9月14日 1♀ 西風太採集同定

シロゴミグモ

京都府乙訓郡大山崎町天王山 2019年8月6日 1♀ 西風太採集同定

ナシジカレハグモ

京都府乙訓郡大山崎町天王山 2019年11月21日 1♀ 西風太採集同定

ヒシガタヒメグモ

京都府長岡京市長岡公園 2019年9月25日 1♀ 西風太採集同定

ヤガタハエトリ

長野県上田市上田黄金沢 1996年5月26日 1♂, 1999年6月10日 1♂ 藤澤庸助採集同定

ホラヌカグモ

東京都立川市富士見町多摩川河川敷 2018年11月23日 1♂, 千葉県南房総市下滝田 2020年3月6日 1♂ 須黒達巳採集同定

サイトウヌカグモ

千葉県大多喜町会所 2020年3月21日 1♂ 須黒達巳採集同定

ニンギョウネオンハエトリ

愛媛県久万高原町下畑野川 2018年10月14日 1♂1♀ 野村拓志・矢野真志採集 須黒達巳同定(採集時幼体, 飼育後成体)

クロツヤハエトリ

福島県須賀川市浜尾遊水地坪の内 2019年8月26日 1♂ 須黒達巳採集同定



クロツヤハエトリ

アリサラグモ

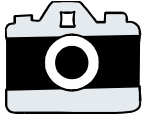
神奈川県相模原市緑区陣馬山 2017年5月13日 1♂ 須黒達巳採集同定

<成幼不明, ないし幼体による参考記録>

キジロオヒキグモ

山梨県南アルプス市有野 2020年2月26日 1y 齊藤勝巳採集同定

(新海 明・谷川明男集約)



ギャラリー



『ん？、おや？』

2019年6月奈良県天川村の山中で撮影したウズグモ類の網の一部です。ウズグモ類の網に逆光気味にLEDの光をあてると、篩板糸の付着している部分が薄青色に怪しく光るのですが、それで妙なことに気がつきました。私は篩板糸は横糸だけに付着させていて、全体としてみればらせん状になっていると思っていたのですが、よく見るとちょっと違う点がありました。いちばん外側の横糸らしき部分では、たて糸にそっても光っていて、横糸をギザギザに張っていったように見えます。そして、さらに外側の枠糸と思われる部分も光っていて、ここにも篩板糸がつけられているようです。網主のクモは幼体で、種名は同定できませんでした。

撮影・文：谷川明男

遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603

新海 明まで

E-mail では dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp (谷川明男) まで

遊絲の発行は、年2回(5月、11月)の予定。

投稿締切は発行月の前月末日(4月末と10月末)です。

日本蜘蛛学会

homepage : <http://www.arachnology.jp/>

Atypus 閲覧のパスワードは ***

入退会は

庶務幹事

田中一裕

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1

宮城学院女子大学一般教育部

E-mail: tanaka@mgu.ac.jp

会費の問い合わせ及び住所変更は

会計幹事

加藤輝代子

〒272-0827 千葉県市川市国府台 5-26-16-206

E-mail : kiyoko_kato@tce.ac.jp

年会費 正会員 7000円(学生は5000円)

郵便振替口座 00970-3-46745

日本蜘蛛学会

遊絲 第46号

2020年5月25日発行

編集者 新海 明, 谷川明男, 池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 田中幸一
